

本学学生及び保護者の皆様へ

神戸親和女子大学における学費の考え方について

学長 三井 知代

平素は神戸親和女子大学の教育、研究活動に多大なご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

この度の新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言が解除され、少しずつ「新しい生活」が始まりましたが、皆さんにおかれましては、まだまだ不安な日々を過ごされていることと存じます。

本学は新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、学生の健康を守ることと学業の継続を目指して、オンライン授業を4月27日より実施しています。オンライン授業はスタートから1か月が過ぎましたが、学生及び保護者の皆様のご理解、ご協力により、順調に進行しているようです。

さて最近、学生及び保護者の方々から学費（授業料、施設設備充実費、教育充実費）に関するいくつかの質問を頂きました。「学内が閉鎖され入構できないのに、施設設備充実費を支払うのでしょうか」、「授業の形がオンライン授業になったので、授業料減額措置はとらないのですか」といった問い合わせです。そのような質問に対して本学の学費の考え方についてお伝えいたします。

本学は学費について、基本的に学部の4年間に大学が提供する教育、例えば授業、単位認定、施設利用などに対応する費用の総額として設定しています。その総額を4年間に等分して、皆さんには半期ごとに納付して頂いています。学費は入学時に設定され、今回のように一定期間オンライン講義に変更されたとしても、学費が上下することはありません。

もちろん、オンライン授業を行う場合も、対面授業と同様に学費に見合った教育内容を提供し、対面授業よりも質が劣ることがないようにきめ細かい授業を心がけています。オンライン授業では実施が難しい実技系、実習などの科目は、夏季集中講義などで実施を計画します。柔軟にカリキュラムを組み替えて、皆さんが4年間で学修目標に到達するように教職員は一生懸命に準備をしています。

また、本学はすべての学生がオンライン授業を受講することができるように、受信環境に困難を抱えている学生に対して優先的にノートパソコン、モバイル Wi-Fi ルーターの貸与を行ってきました。

オンライン授業の開始にあたっては、時間をかけて全教員への数回にわたる研修を重ねて参りました。オンライン授業を支援する学内の部署では、システムの維持管理と学生への個別サポートを継続しています。4月、5月はオンライン授業継続への支援を全学的に行ってきました。このような学習支援が可能なのも皆さんが納められた学費のおかげです。

学費の中には、施設設備充実費や教育充実費も含まれています。施設設備充実費は当該年度の施設利用料ではなく、大学の運営に必要な施設の維持、管理費として皆さんの学費から

納めていただいています。例えば、図書館や体育館といった施設の維持、管理、各教室の備品、パソコンの更新など、大学での学習をより効率的に進めることができるように環境整備に充てています。今回、オンライン授業を円滑に進めるための環境整備にも相当の費用を支出いたしました。突発的な支出にも迅速に対応できるように大学は常に準備をしており、それによって今回のような非常時でも大学は学費を値上げする必要がないのです。現在、学内に第二体育館を建設しておりますが、このような設備投資のための資金を、皆さんの「施設設備充実費」に上乗せすることはありません。

このような学費の考え方にに基づき、本学は全学生に対する一律の学費の減免、返還は現在のところ予定しておりません。そのかわり、経済的支援を必要としている学生への学費減免制度を設立しました。経済的な理由で学業が継続できない学生を優先的に支援することにし、「新型コロナウイルス感染症対応特別授業料減免制度」（20万円～40万円を授業料から減免。返還不要）、「新型コロナウイルス感染症対応特別貸与奨学金」等の新制度を用意しました。詳細は学生担当へお問い合わせください。

一律給付ではない、このような支援に対して「不公平」と感じる方がおられるかもしれません。しかし、オンライン授業や学業継続において、誰一人取り残されないように支援する、支援を必要とする学生に対して優先的に対応するという本学の方針は、すべての学生が「公平」に学びを継続することができるようにとの大学の強い思いに基づいています。

「ひとに学び ひとに生かす」という本学のスローガンは大学コミュニティ全体で学びあい、支えあうという本学の基本的な精神を表しています。このような大学の大切にしている考え方、方針に基づく対応であることをどうかご理解いただきますようお願い申し上げます。

今後、本感染症とは長い付き合いとなる可能性が高いと言われております。私たちは校祖友國晴子が掲げた「堅忍不拔」のころを大切に、皆さんとともに粘り強くこの難局を乗り越えていきたいと思っております。何卒よろしくようお願い申し上げます。

最後になりましたが、数カ月にわたり、学内への入構が禁止となり、皆さんにはご不便な思いを強いることになってしまい、心苦しい限りです。6月からは、感染症の状況が許せば、学内開放日に学生の皆さんが図書館などの学内施設を利用できるようにしました。また演習などの授業から対面授業の開始を徐々に計画しています。学生の皆さんとキャンパスでお会いできる日を楽しみにしています。